

防災と男女共同参画に関する 事業推進のための 人材育成研修

2025年

9/27(土)・28(日)

オンライン (Zoom)

受講後、全過程修了者に講師用
PowerPointデータをお送りします

講師：浅野幸子さん、池田恵子さん（減災と男女共同参画 研修推進センター）

浅野 幸子さんプロフィール

早稲田大学地域社会と危機管理研究所招聘研究員。
減災と男女共同参画 研修推進センター共同代表。
阪神淡路大震災でNGOのボランティアスタッフとして在宅避難者・仮設住宅・全焼地域の復興まちづくり協議会支援に4年従事。その後、（財）消費生活研究所、全国地域婦人団体連絡協議会で事務局・研究員を勤めた。法政大学大学院後期博士課程終了。大学非常勤講師。主な分野は地域防災、災害とジェンダー。

池田 恵子さんプロフィール

静岡大学グローバル共創科学部教員。
減災と男女共同参画 研修推進センター共同代表。
青年海外協力隊員、JICA技術協力専門家（開発とジェンダー）などとしてバングラデシュやネパールで環境保全や防災の事業にジェンダー視点を組み込む活動に従事。2000年より静岡大学教員。
日本と南アジアの国々を対象に、地域防災への女性の参加、災害リスク削減とジェンダー・多様性について研究。

対 象：全国女性会館協議会の会員館職員、防災・男女共同参画に関係する自治体職員、
テーマに関心のある方

定 員：30名（定員に達し次第受付終了）

受講料：9,000円（全国女性会館協議会会員館及び個人会員は6,000円）

申込手順：6月25日（水）受付開始 申込締切日：9月18日（木）

申込フォームからお申込みください。 <https://j-kaikan.jp/news/6960>

受付後、資料のデータを送信しますので各自印刷して受講してください。

問合せ：特定非営利活動法人 全国女性会館協議会

Email: info@j-kaikan.jp

TEL: 03-6426-1700（月・水・金曜日 10:00～16:00）

※提供いただいた個人情報 は本事業運営のみに使用し、他の目的には一切使用しません。



◆研修の概要◆

- ・Youtube動画配信によるオンデマンド事前学習（9/18～9/26）
- ・オンライン（zoom）による講義とグループワーク（9/27, 9/28）

◆研修までの流れ◆

1. 参加申込
2. 受講料振込（申込受付後、全国女性会館協議会から受講料の振込口座をお知らせします）
3. 資料受取（入金確認後、事前学習用の動画URLと資料をメールでお送りします ※9月24日頃予定）
4. 事前学習（動画を視聴してください）
5. 資料受取（当日資料を前日までにメールでお送りします ※資料は各自印刷してください）

2025年度「防災と男女共同参画に関する事業推進のための人材育成研修」概要

オンデマンド事前学習(9月18日～9月26日) 計3時間程度	
9月中旬～	事前学習資料メール送信
9月18日～9月26日	オンデマンド教材公開
9月18日～9月22日	事前学習に関する質問を事務局に送信（任意）
内 容	（基本スライドの上演） なぜ防災に男女共同参画の視点が不可欠なのかを学びます
	（基本スライドの上演） 多様性を災害支援に組み込む（要配慮者、避難行動要支援者、子ども、若年女性、LGBT、外国人）
	国の政策について共有します
	ワークショップの準備について

1日目：9月27日（土） ※時間・内容は変更する場合があります	
午前	開会・事務連絡等
	【事前学習のふりかえりと能登半島地震の被災地からの声】
	【自治体の男女共同参画担当部門・男女センターの役割、市民団体との連携】
昼食休憩	
午後	【災害時の性暴力と対策に関するワークショップ】
	【男女センター等による取組事例】
	全体を通した質疑

2日目：9月28日（日） ※時間・内容は変更する場合があります	
午前	【災害後の事業継続と被災者支援の制度・しくみ】 ＊事業継続の視点（組織一般、行政、ステークホルダーとの関係） ＊被災者支援のためのしくみ（災害救助法、被災者生活再建支援法など） ＊災害ボランティアの活動
	【災害時の対応シミュレーション】 ＊男女センター、行政、市民団体の各立場の被災シナリオをもとに
昼食休憩	
午後	【ワークショップ：男女共同参画の視点に立った防災事業・活動の組み立て方を考える】
	事務連絡
	【交流会】 ※自由参加、途中退出可